

第57期 中間報告書

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日

 日立建機株式会社

証券コード：6305

デジタル技術を活用し、ソリューションを深化 変化に強い企業体質へ

お陰様で建設機械本格生産から70年。当社発足から50年。
永年にわたる皆様のお力添えに、心より感謝申し上げます。

代表執行役
執行役社長兼取締役

2020年11月
平野 耕太郎



当第2四半期連結累計期間の売上収益は、新型コロナウイルスの影響による市況悪化を受けた新車販売や部品サービスの減少、並びに円高基調で推移した為替の影響等により、注力するバリューチェーン事業のうちレンタル・中古車の売上は前年同期比で増加しましたが、全体としては前年同期に比べ大幅に落ち込みました。

しかしながら中間配当金は、年間の業績目標の必達を期し、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表す意味で、1株当たり

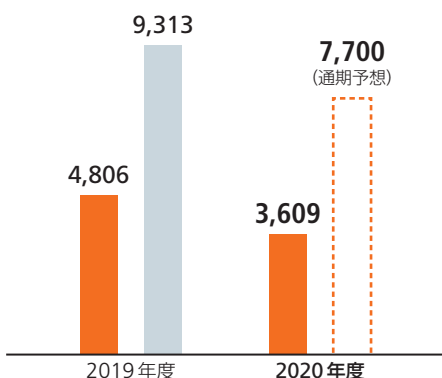
10円とすることを取締役会にて決定しました。

日立建機グループは、これまでも取り組んできたバリューチェーン事業を強化するため、デジタル技術を活用し、更に深化したソリューションをお客様に提供すると共に、変化に強い企業体質への転換に取り組んでいます。これまで積み重ねてきた70年から、更に先に続く創造の未来へ邁進して参りますので、日立建機グループと引き続き歩みを共にしていただけると幸いです。

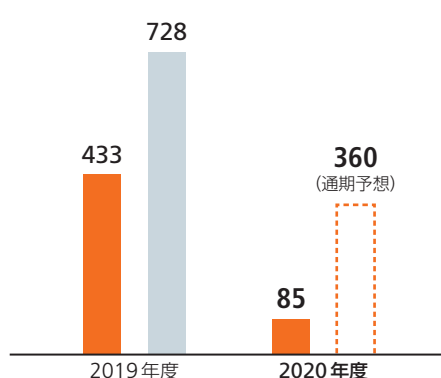
連結業績ハイライト

■ 第2四半期（累計） ■ 通期（単位：億円）

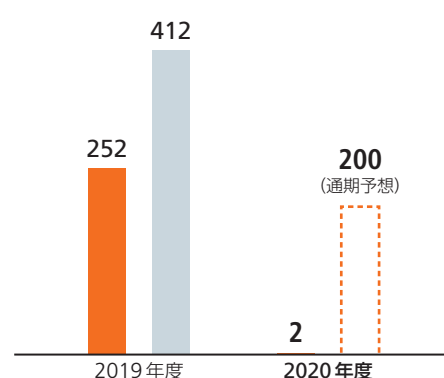
▶ 売上収益



▶ 営業利益



▶ 親会社株主に帰属する当期利益



History of Hitachi Construction Machinery

日立建機の歴史

純国産技術による機械式ショベル[U06]の製造から70年。
日立建機株式会社の足跡をたどって共に歩こう、創造の未来へ。

日立建機 70周年

1950

- 機械式ショベル[U06]量産開始
-建設省最上川下流工事事務所へ1号機納入-



1958

- 機械式ショベル[U106]本格発売
-世界初の流体継手を採用-



1949

- 純国産技術による国内初の機械式ショベル[U05]完成



国産初のホイールローダ「85A」第1号機(1960年完成)は、龍ヶ崎工場に展示されているよ。

1970

- 日立建機(株)発足[資本金38億円]

1971

- 世界初の全油圧式クローラークレーン[KH150]発売



1972

- ホイール式油圧ショベル[WH03]発売
- 自社最大(当時)の全油圧式クローラークレーン[KH900](つり上げ能力180t)発売

1973

- 油圧ローディングショベル[UH20]発売
-日立建機独自の水平押出機構を搭載-



1974

- 足立工場から土浦工場に生産移転

1975

- マイクロジョンシールド掘進機納入
-日立建機生産1号機-

1979

- 鉱山用油圧ローディングショベル[UH50]発売
-世界最大級、国産最大-



土浦工場の土地面積は、ディズニーシーとほぼ同じ広さなんだよ。

1980

東京証券取引所市場第2部に上場

1980

東京証券取引所市場第1部へ指定替え

1960

日立建機(株)発足



START!



機械本体の色は、もともと濃緑色が標準色だったけど、東海道線走る湘南電車でヒントを得て濃緑色とオレンジのツートンカラーになって、そこから歴史を経て今のタキシーエロー(オレンジ)になったんだよ。



純国産技術による国内初の機械式ショベル[U05]第1号機(1949年完成)と油圧ショベル[UH03](1965年完成)は、土浦工場に展示されているよ。

1960

- 自社製エンジン[B-06]を搭載したブルドーザ[T09]発売

1965

- 純国産技術による国内初の油圧ショベル[UH03]発売



1968

- 業界初の中型油圧ショベル[UH06]発売

1969

- 油圧モータ[HMA50L]完成
- アーティキュレート方式のホイールローダ[WS100]発売

1981

- 東京証券取引所市場第2部に上場[資本金47億円]

1983

- 油圧ショベル[UH-7型シリーズ]発売
-最適油圧システムO.H.Sを搭載-

1986

- 電子制御導入の新世代油圧ショベル[Landy EXシリーズ]発売



1987

- 世界最大級(当時)の超大型油圧ショベル[EX3500]発売

1988

- ホイールローダ[LXシリーズ]発売



1989

- 東京証券取引所市場第1部へ指定替え[資本金:134億円]

▶ 日立建機の歴史をたどってみませんか?

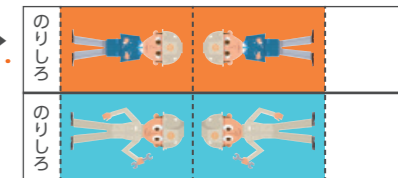
切り取ってコマとして使用ください。▶

すぐろくのようにコマを道の上に実際に置くことで、年表をよりお楽しみいただけます。

- 作り方** コマを切り取り、点線に沿って仕上がりがイメージ(右図)のように折ってください。
のりしろの部分のをりなどで留めれば完成です。



仕上がりがイメージ



1990

- 道路機械の販売開始



- 油圧ショベル[Super Landy ニューEX-2シリーズ]発売

1991

- ミニショベル[Landy KID EXシリーズ]発売

1993

- 自走式クラッシャー[HR420]発売、環境製品市場参入

1994

- 油圧ショベル[New Super Landy EX-3シリーズ]発売
- クローラークレーン[CXシリーズ]第1弾[CX500]発売
- ミニショベル[EX-2シリーズ]発売

1996

- 超大型油圧ショベル[EX3500-3]発売(市村賞及び日本建設機械化協会会長賞を受賞)



1997

- ホイールローダ[LX-3シリーズ]発売
- 世界最大級(当時)超大型油圧ショベル[EX5500]完成



土浦工場に展示されている油圧ショベル[UH03]は2011年に(社)日本機械学会の「機械遺産第48号」選定、2018年に国立科学博物館の認定する「重要科学技術史資料」(愛称、未来技術遺産)登録がされたんだよ。

1990



日立建機の製品名についているアルファベットは、「U」はUniversal(万能)、「H」はHydraulic(油圧)、「Z」はZaxis(Z軸)の頭文字だよ。

2000



2010



2020

創造の未来へ

2010

- フル充電で4~6時間の連続稼働ができるリチウムイオンバッテリーミニショベル[ZX35B]発売
- 情報化施工に対応する油圧ショベル用マシンガイダンスシステム発売



2011

- ハイブリッド油圧ショベル[ZH200-A]発売(グッドデザイン賞を受賞)



2012

- ロボット技術を結集した双腕仕様機「アスタコNEO ZX135TF-3」発売



2013

- リジッドダンプトラック[EH5000AC-3]発売



- サービスソリューション[ConSite]提供開始

2014

- ハイブリッドシステムを搭載したホイールローダ[ZW220HYB-5B]開発



2016

- 鉱山用ダンプトラックの安全運転支援システム[Fleet Awareness V2X]開発
- 常陸那珂工場の隣接地に、「ICTデモサイト」開設
- ICT油圧ショベル[ZX200X-5B]発売

2017

- 新開発の「TRIAX-HX II システム」を搭載したハイブリッド油圧ショベル[ZH200-6]発売
- ICT施工ソリューションの中核を担う「Solution Linkage Cloud」の提供開始
- 建設機械のオイルを24時間見守る「ConSite OIL」を欧州及びオーストラリア連邦で提供開始

2018

- 施工現場のIoT化を実現する「Solution Linkage Mobile」の提供開始
- トローリー受電方式リジッドダンプトラック[EH5000AC-3]発売



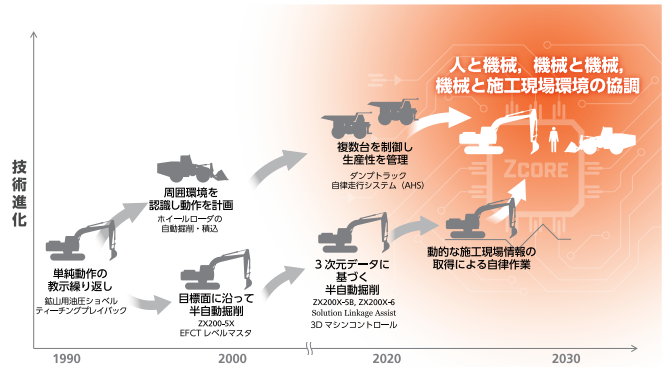
▶ 人と機械が協調：「ZCORE」を開発

2020年8月、自律型建設機械の開発と機能拡張を容易にするシステムプラットフォーム「ZCORE」（ズィーコア）を開発しました。

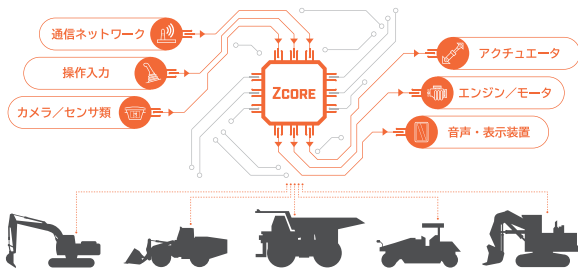
当社は、人と機械、機械と機械、機械と施工現場環境とが相互に情報をやり取りし、施工現場全体の安全性の向上、生産性の向上を図る「協調安全」の現場の実現をめざしています。

ZCOREは、建設機械に装着したセンサー類、通信ネットワークから情報を収集し判断する「情報処理プラットフォーム」、その判断に従って油圧機器等を動かす「車体制御プラットフォーム」で構成された機能拡張性の高いシステムプラットフォームです。これにより、協調安全と高度な自律運転の両立を実現します。

今後、当社が開発する自律型建設機械に、ZCOREを適用していきます。そして、お客様の求める、より高い安全性と生産性の向上に貢献していきます。



認識▶ 判断▶ 実行



ZCOREの主な特徴

01 協調安全と高度な自律運転を両立

ZCOREは、施工現場でのオペレータによる「認識・判断・実行」を機械システムができるようにしたもので、そのために必要なセンサーや情報システムを容易に実装し、協調安全と高度な自律運転を両立します。

02 機能拡張、カスタマイズが容易

汎用のセンサーに対応できるようにインターフェースを共通化することで、各種センサー等への接続を容易にし、お客様のご要望に合わせて機能拡張、カスタマイズができます。

360° VRファクトリーツアーのご案内

来年6月に開催予定だった株主様工場視察会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止とさせていただきます。今後の開催予定は、決まり次第お知らせします。

工場視察会はありませんが、「360° VRファクトリーツアー」がお楽しみいただけるようになっていますので、ご紹介いたします。右の二次元コードからアクセスしてください。

※二次元コードが読み取れない場合は <https://www.hitachicm.com/global/jp/factory-tour/#ft>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
剰余金の配当の基準日	毎年3月末日及び毎年9月末日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 (https://www.hitachicm.com/global/jp/)
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っています。
郵便物送付先、連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター 電話 (0120) 49-7009 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について	お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きについては、東京証券代行株式会社にお申し出ください。
未支払配当金のお支払いについて	株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
上場株式配当等のお支払いに関する通知書について	配当金を銀行等口座振込（株式数比例配分方式を除きます。）又は配当金領収証にてお受け取りの場合、お支払いの際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様は、お取引の証券会社等にご確認ください。

日立建機株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目16番1号
電話 (03) 5826-8151
<https://www.hitachicm.com/global/jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

